

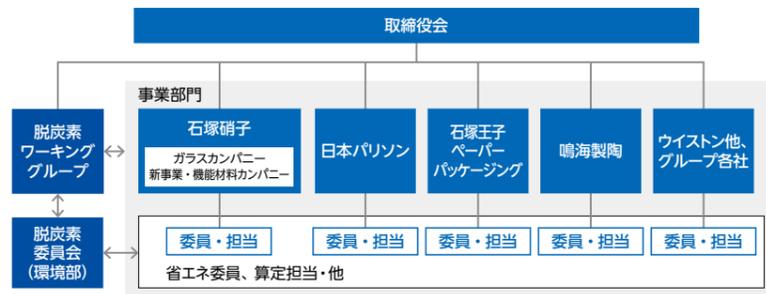
中期経営計画の進捗

目標 3 2030年度CO₂排出量50%削減に向けたロードマップ作りと実践

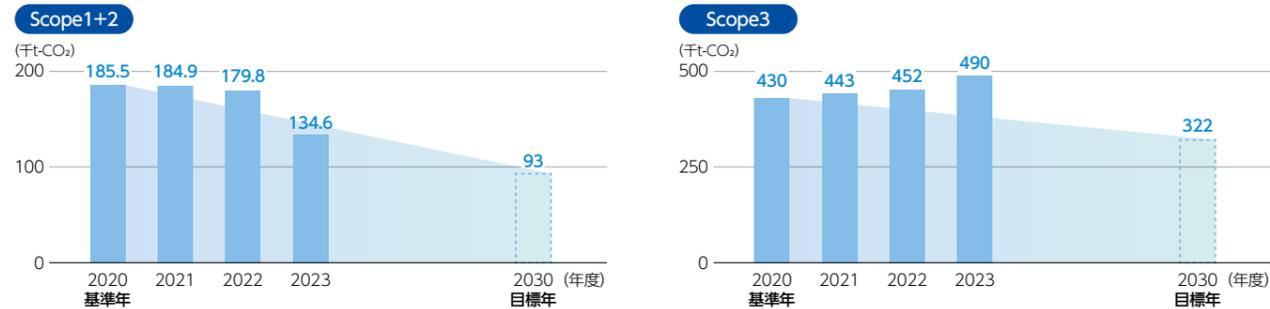
当社グループは、CO₂排出量削減目標を掲げSBT認定を受けるとともに、国際社会と調和した脱炭素社会の実現に取り組んでいます。事業部門ごとに、方針や将来の計画、顧客・業界の内外情報、政治・経済の外部情報を見据えた上で、実現性、想定効果をもとにCO₂排出量削減に向けた施策項目を積み上げ、これを体系的に統合したCO₂削減ロードマップ2nd作りと実践を行っています(2025年度、開示予定)。

CO₂排出量削減目標 (SBT認定取得)

マネジメント体制図



CO₂排出量削減実績



削減ステップ

| (年度) | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 | 2030 |
|----------------|-------|-----------------------------------|---------------|--|---------------------------|------|---------------------------------|------|------|------|
| 施策 | | (中計)CO ₂ 削減ロードマップ作成と実践 | | (中計)CO ₂ 削減ロードマップ2nd | | | (中計)CO ₂ 削減ロードマップ3rd | | | |
| 大型投資 生産変革 | | ガラス食器 生産工程の統廃合 | 紙容器(オフセット印刷化) | ガラスびん工程:冷修合理化① 溶解炉の省エネ化 | ガラスびん工程:冷修合理化② エネルギー転換 | | | | | |
| 創エネ化・ 再エネ化 | | | | PETボトル用プリフォーム姫路工場立上げ ・r-PET*の利用拡大 ・PPAソーラー発電稼働 | | | | | | |
| 現場改善・ 省エネ活動 | 省エネ活動 | ウイストン(射出成形機の省電力化) | 鳴海製陶(焼成炉効率化) | 東京工場(再エネ調達 継続中) | 岩倉工場(再エネ調達)予定 | | | | | |

* r-PET: 再生PET

2023年度は、ガラス事業の生産工程の統廃合と合理化によるエネルギー削減が奏功し、Scope1+2排出量は大幅削減(基準年度比27%減)となりましたが、Scope3排出量は売上増に連動して原材料調達などのカテゴリで排出量が基準年比で増加しています。また、2024年以降に予定している生産設備の定期補修に合わせ、さらなる省エネ化を図ります。

PETボトル用プリフォーム事業では、姫路新工場にソーラー発電を導入しました。さらに最新の成形技術を用いたリサイクルPET100%のプリフォーム生産を行うことで、Scope3排出量の抑制が期待できます。その他にグループを挙げてCO₂フリー電力の利用拡大を検討項目に掲げるなど、CO₂削減ロードマップの施策をブラッシュアップして削減目標の達成に邁進していきます。

石塚硝子グループのサステナブル経営

サステナブル経営の考え方と社会に提供する価値

企業の持続的な存続は、社会に対する貢献・社会の持続的な発展とともにあるという考えのもと、創業200年を超える歴史のなかで受け継がれ培われてきた信頼とともに、企業としてさらなる発展を続け、企業価値の向上と社会に貢献できる企業を目指します。

企業理念の実現

〈わたしたちの使命〉
暮らしに彩り、豊かさと安心をお届けします。

〈わたしたちのビジョン〉
価値あるモノづくりとともに、社会で輝くヒトを育て、未来へ向かうユメを築きます。

社会に提供する4つの価値



事業活動とサステナビリティ



事業における重要課題

